

2021年度 研修終了報告

研修名：3病院の結束—師長編— 第3回（全3回）

実施日：2022年1月12日（水）13:00～16:30

方法：オンライン形式（ZOOM 使用）

アドバイザー：大森病院 副看護部長 節原光江

大橋病院 副看護部長 安藤弓子

佐倉病院 副看護部長 林 弥生

受講者：9名（大森3 大橋3 佐倉3）

視聴者：6名（大森1 大橋3 佐倉2）

目的：受講者自身が取り組む課題について同じ立場の仲間と語り合い、看護管理実践の表を行いながら他者の意見を聴くこと・意見することを通じて3病院の看護師長が連携する意義を再考する。

目標 ①自身の取り組みを他者に伝え、討議ができる

②討議を通して自身の取り組みを評価できる

③東邦大学3病院の看護師長として、3病院の師長が連携する意義を考えられる

【終了後アンケート結果】n=9 回答率100%

設問

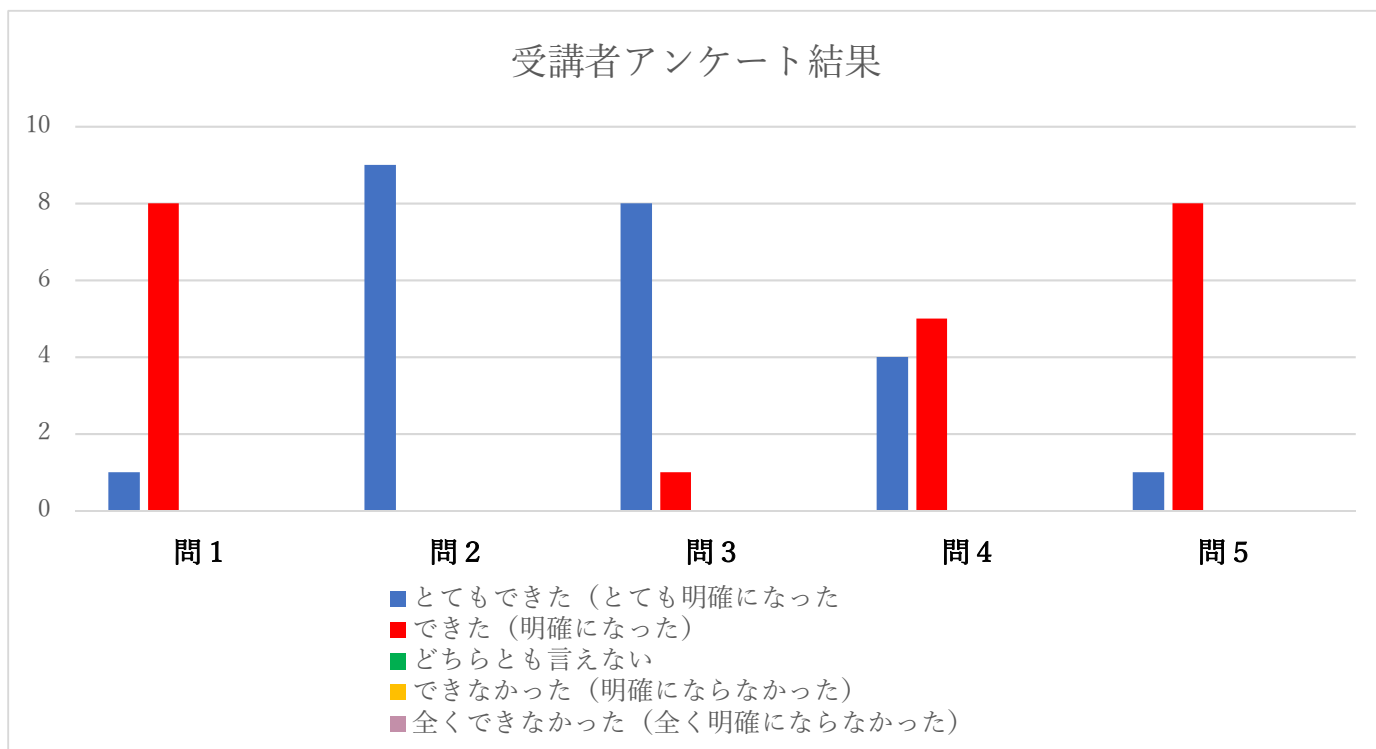
問1 [自身の取り組みを他者に伝え、積極的に討議が行えましたか?]

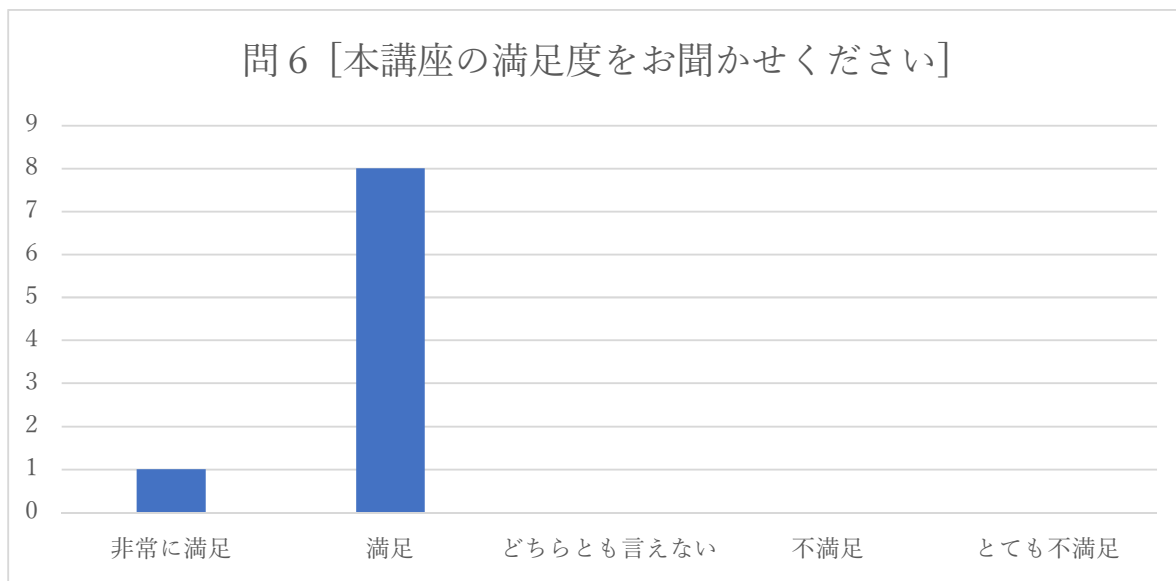
問2 [3回の研修を通じて、あなたが取り組むべき課題が明らかになりましたか?]

問3 [3回の研修を通じて、あなたの取り組みの評価の視点が明確になりましたか?]

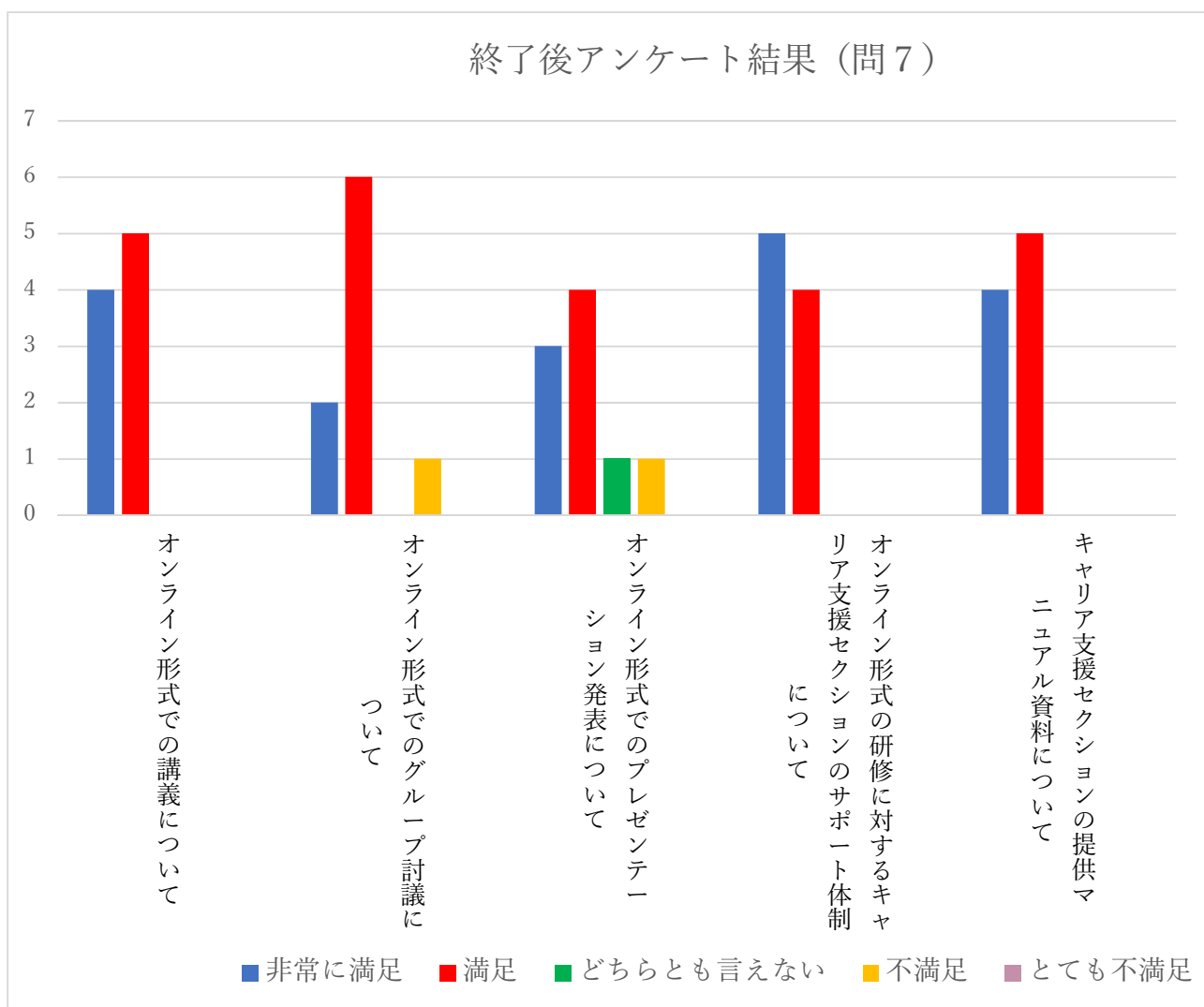
問4 [3病院の看護師長が連携する意義を考えることができましたか?]

問5 [3回の研修を通じて、看護師長に期待される役割を理解できましたか?]





問7.オンライン形式に対する評価



### ■学びになったこと・興味深かったこと（抜粋）

- ・組織には量的な考え方、現場では量的+質的な考え方が重要視されることを改めて学んだ。
- ・師長がどのような管理的視点を持って働いているか他の方々の意見を聞いて参考になった。
- ・問題の背景をしっかりと捉え、要因を絞り焦点化して取り組んでいくことが大切だと思いました。遠回りようですが、1つずつ紐解くことで、多くの問題が解決するのだと感じました。
- ・部署の課題は、自己の課題であることを再認識した。
- ・同じ立場の師長が集まり、意見交換することで自分自身の考えがまとまった。問題と考える視点は様々ではありましたが、すでに皆さん実行されており、そのことをしっかりと分析していたため、参考になりました。
- ・皆さんが参考にされた文献と考え方

### ■意見・感想など（抜粋）

- ・日々忙しい現場では、他部署の師長に話をするのもなかなかできません。研修で、話を聞いてもらい、励まし、元気づけていただきました。ありがとうございました。
- ・ZOOM環境やオンライン参加に対する各自への操作支援、細かな気遣いが素晴らしかったです。とてもスムーズに研修が進められたことは、キャリア支援セクションの皆様のお陰だと感謝致します。ありがとうございました。
- ・キャリア支援セクションの皆様には細やかにご配慮いただき、楽しく研修を受けることができました。
- ・師長としての自分を振り返るよい機会になりました。ありがとうございました。
- ・貴重な研修となりました。グループ担当副部長の支援もとてもうれしかったです。

### 【まとめ】

全3回シリーズの3回目の研修が終了しました。本研修では「スタッフのための環境調整」をテーマに、受講者が行った自部署分析や分析結果からの課題設定と改善への取り組みに焦点を当て、グループメンバーとアドバイザーの助言を得ながら管理者としての思考や行動の一部を学びました。3回目の研修は、受講者自身の取り組みとその成果の一部をプレゼンテーションしました。受講者全員、課題設定の背景を丁寧に分析し、自身の取り組むべき方向性を明確にして発表が行えました。

全3回のアンケート結果や自由記載では、受講者全員が「目標達成できた」と回答していました。また、プレゼンテーション内容からも、本研修の目的・目標は達成されたと評価します。